

荒井 浩道

駒澤大学 准教授

ICT を活用した都市高齢者の社会的孤立防止に関する調査研究

本研究は、ICT（Information and Communication Technology, 情報通信技術）を活用した都市高齢者の孤立防止をテーマとし、その可能性と課題を明らかにすることを目的とした。

本研究では、社会実験とそれを踏まえたインタビュー調査を実施した。社会実験は、実際に ICT 端末（VoViT）を高齢者宅に設置し、住民サポーター、専門機関等による支援を行った。インタビュー調査は、利用者等を対象としたデプスインタビュー調査と、社会実験参加者を中心としたグループインタビュー調査を実施した。インタビュー結果は、研究テーマに基づいて分類し、得られた知見をまとめた。また、テキストマイニングの手法を用いて分析した。

結果として、①「緩やかな繋がりによる見守りネットワークの構築」、②「サポーター・システムによる見守りネットワークの強化」の可能性が示唆された。また、①「個別ニーズに対応した機能の取捨選択」、②「多様な利用者特性への対応」、③「サポーターの人材養成」という課題が浮かび上がった。